

＋ 成田赤十字病院広報誌

ふれあい



〒286-8523 千葉県成田市飯田町90-1
TEL 0476(22)2311(代) <http://www.naritasekijyuji.jp/>



創刊のご挨拶

成田赤十字病院 院長 加藤 誠

このたび、みなさまに成田赤十字病院をよく知っていただき、よりよくご利用いただくために広報誌「ふれあい」を創刊いたしました。現在当院にかかっておられる方またこれからかかる方とのふれあいを大切に、当院にはどのような診療科があり、どのような治療が行われているかなどをご紹介しますと思います。

成田赤十字病院は、昭和23年2月1日に当成田市に産声を上げ、以来幾度かの増改築を繰り返し、現在の規模になりました。現在の当院は、病床数732床（一般662床、精神科50床、感染症20床）、診療科18科です。当院の理念は、より高度な医療の提供、より安全な医療の提供、また医療人としての倫理を守り、患者さま中心の「こころ暖かい医療」の提供です。

患者さまのみなさまに当院をより良くご利用いただくためにお願いがあります。これからの医療は、一つの病院ですべての医療を完結する一病院完結型医療ではなく、その地域で軽症から重症まで、またその後の介護までつまり医

療、福祉を含めて地域内で完結する地域完結型医療となります。つまり診療所、病院、福祉施設等がそれぞれの機能に応じてそれぞれの役割を分担する、医療、福祉総合システムです。これからの少子高齢化の日本では、限られた資源（医療費、福祉費）を有効に使い、より良い効果を上げるためには是非とも必要なシステムです。そこで患者さまのみなさまには、当院にかかれる前に必ずまずお近くの診療所にかかり、当院での診療や検査が必要と診療所の先生が判断された場合、紹介状を書いていただいてから当院にかかっていただきたいと思います。現在当院には軽症から重症までさまざまな新患のかたが来られます。来られた患者さま全員に十分に時間をかけて診察をしたいのですが、当院の能力以上に来られますので残念ながらできません。これでは当院の機能を十分に生かした診療ができず、また何時間もお待たせし、患者さまにも、また十分な診療をしたと思っている医療者側にとっても、不満足なことになってしまい、お互いに不幸なことです。当院の機能を必要としておられる方に優先して提供したいと思います。また、当院での診療が一段落し病状が落ち着きましたら、お近くの診療所や病院を紹介致しますので、その際にはぜひご協力をお願い致します。

これからも成田赤十字病院のよりいっそうの機能の充実に、またみなさまにご満足いただけるような接遇に努力し、地域の医療、福祉の充実のお役に立ちたいと思いますので、みなさまも当院を地域の資源として、みなさまのために有効にお使いいただきますようお願いいたします。

健診センターより

当院では『一泊人間ドック』と『日帰り人間ドック』の2コースを実施しております。隠れた病気の早期発見と健康維持のために1年に1回は人間ドックを是非ご利用ください。

◇1泊 人間ドック 基本料金 61,000円（税別）
（ご希望により個室、オプション検査あり）

◇日帰り 人間ドック 基本料金 44,000円（税別）

■人間ドックご利用について

検査実施：月曜日～土曜日（但し第2・4土曜日は休診）

お申し込み方法：人間ドックはすべて予約制になっております。ご予約はG棟1階、健診センター受付にご来院いただくか、お電話で承っております。

■ご予約・お問い合わせ

0476-22-2311(代) 内線7501・7504

講習のご案内

成田赤十字病院で受講される方は、普通ハガキにて下記の要領でお申し込みください。講習の申し込みは、常時受け付けておりますが定員に成り次第め切とさせていただきます。

■〒286-8523 成田市飯田町90-1 成田赤十字病院社会課 宛
・希望する講習の種類 ・希望講習年月日
・氏名 ・住所 ・電話番号 ・生年月日
・勤務先/学校名

救急法救急員養成講習会 3,000円 5/21～23 7/23～25

8/27～29

家庭看護法一般講習会 1,000円 7/11

幼児安全法支援員養成講習会 1,000円 6/25～27

おくすりコーナー

世の中の健康志向もあって、薬についての情報は様々なメディアから流され、「情報の氾濫」とも言える状況の今日です。しかしながら、それらの情報は民間療法の類のものから最新の医療情報に至るものまで様々です。

当院の薬剤部では、一般の患者さまに基礎的な薬剤情報を提供しようと計画しています。タイトルは「お薬の話」としました。「かぜ薬編」を例にあげると、かぜの定義から様々なかぜ症状に使用する解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、鎮咳剤、去痰剤などの作用や特徴について解説しています。その他「降圧剤について」、「胃薬について」、「ヒロリ菌について」、「吸入器について」、「目薬・眼軟膏について」、「下剤について」、「インフルエンザについて」、などのシリーズを準備しています。

また、終末期医療を支える立場から「モルヒネについて」という冊子を作成し、モルヒネについての解説をしています。この中では「モルヒネの豆知識 その1」から「モルヒネの豆知識 その4」までの4部にわたって、QアンドA方式でモルヒネについての解説と使い方、よく現れる副作用と対策、守るべきことなどについて絵入りで分かりやすく紹介しています。モルヒネについての正しい知識をもって頂き、正しく服用あるいは使用して頂くための情報提供書となっています。

院内で処方されたお薬の名前と薬効及び気をつけるべき副作用については、出やすい症状も一緒に記載して患者さまや家族の方にも分かりやすく記載しています。また、一つ一つの薬品の写真も印刷してありますので、識別しやすいものと思っています。

最近、国民の健康や安全に対する関心が非常に高く、薬をのむことへの不安や飲みあわせているものかどうかといった質問が大変増えています。たいていは、窓口で説明することにより解決するのですが、質問に対して少し説明をしなければならいケースでは、相談室で対応しています。よくお話を聞くと、単に薬のことを聞きたいのではないケースが多々あるのですが、できるだけ相談室でお話を聞きするようにしています。患者さまにとっては話を聞いてもらえるところが少ないことが原因と考えられます。病院の職員としてできるだけ続けていきたいと思っています。

生活習慣病の予防

肥満や高脂血症は、動脈硬化を促進させ、心臓病や脳卒中の元凶となります。これらは、主に過食や運動不足など生活習慣の乱れによるもので生活習慣病と呼ばれます。私たちの健康を大きく左右しているのは、自分自身の日々の生活のあり方だといえるのです。

食生活を見直そう

1 食べすぎていませんか？

ゆっくり良く噛んで腹八分目を心がけましょう。

<1日のエネルギーの目安>

標準体重×(20~30) Kcal

標準体重=身長(m)²×22

2 バランスよく食べていますか？

- ・食卓に主食、主菜、副菜をそろえましょう
- ・野菜や海藻、きのこなど積極的に食べましょう

3 規則正しく食べていますか？

- ・1日3食規則正しく食べましょう
- ・夜食、間食は控えめにしましょう

4 脂質をとりすぎていませんか？

- ・脂質は、量と質に注意しましょう
- ・脂身の多い肉は控えめにしましょう
- ・植物性の油や魚の油は適度にとりましょう

5 塩分は控えめにしていますか？

- ・うす味に慣れましょう
- ・加工品にも注意しましょう

6 アルコールは飲みすぎていませんか？

- ・適量を守って飲むようにしましょう

<一日の目安量>

- 日本酒：1合
- ビール：大ビン1本 630ml
- ワイン：ワイングラス2杯 200ml
- 焼酎：1/2合 100ml
- ウイスキー：ダブル1杯 60ml

- ・脂質や塩分の少ないつまみを選びましょう

生活習慣病を予防するためには、食生活のみでなく、適度な運動をすること、ストレスをためない生活、十分な休息をとること、禁煙を目指すことなども大切です。自分自身の生活スタイルを見直してみましょう。



当院循環器内科の医療について



近年増加の一途をたどる高血圧、糖尿病（2型）、肥満症、高コレステロール血症などの生活習慣病と呼ばれる病気、さらに高齢化、喫煙などの問題もあり、これらの病気を基にした動脈硬化性疾患が増加しています。循環器内科は心臓や血管の病気を扱う科ですが、最近は狭心症、急性心筋梗塞、足の血管が詰まる閉塞性動脈硬化症といった動脈硬化を原因とした疾患の患者さんが多くなってきています。このような動脈硬化性疾患の診療では予防がなんと言っても大事ですが、一方いざ病気になってしまったときの適切な診断と治療は生命、健康を守る上で重要になります。特に循環器系の疾患では直接生命に関わるが多くなるため、いっそう重要となります。

現在、当院の循環器内科は専門の医師5名と研修医2名で構成されており、F棟5階で循環器内科として30のベッドと集中治療室（ICU）で入院患者さんの診断と治療に当たっています。入院患者さんのなかで最も多いのが狭心症の診断と治療、急性心筋梗塞の治療です。どちらも心臓の栄養血管である冠動脈に狭窄病変ができたために発症する疾患です。

〔狭心症〕狭心症にはふつうの狭心症（安定狭心症）と不安定狭心症があります。安定狭心症とはもともと狭心症があり、現在も変化のないものを言います。歩行時や仕事中に胸痛発作（数分間の胸の締め付け感がもっとも典型的）が起こったり、人によっては明け方寝ているときに発作が起こったりします。この場合は心電図を用いた検査（運動負荷試験、ホルター心電図など）を行い、狭心症の可能性が高ければ2泊3日の入院で心臓カテーテル検査で診断が

つき、治療方針を決めることができます。一方、不安定狭心症とは初めて狭心症発作が起こったり、元々の狭心症で最近急に発作の強さや頻度が悪化してきたものを言います。これらは非常に危険で急性心筋梗塞になりやすい状態と考えられるため、すぐに入院し心筋梗塞への進行を防がなければなりません。当院では年間100人くらいの不安定狭心症患者さんが入院（特に夜間に救急入院となる患者さんが多い）になっています。病状が安定したらやはりカテーテル検査と言うことになります。冠動脈狭窄部の治療として最近よく行われるようになったカテーテル治療（狭くなった冠動脈を手術しないで広げる治療）も年間100人くらいの患者さんに実施しています。

〔急性心筋梗塞〕狭窄のある冠動脈が詰まってしまい、心臓の筋肉（心筋）へ酸素が全く届かない状態です。そのまま詰まったままでは心筋は5、6時間以内に死んでしまいます。死亡率も10%と非常に高い危険な疾患です。冷や汗を伴うような強い胸痛発作が起こったら、すぐにかかりつけ医もしくは救急車で当院を受診してください。当院では24時間急性心筋梗塞患者さんの治療が行える態勢をとっており、年間60から80人の心筋梗塞患者さんの治療を行っています。

このような狭心症や心筋梗塞の患者さんも急性期の治療が終わり安定状態になれば、近くの診療所、紹介していただいた医院で内服治療を続けていただくことになります。いずれにしても心臓の疾患はのんびり待ってはられない場合が多く、おかしいなと思ったらすぐに医療機関を受診し、必要な検査、時には速やかな入院治療を受けられるようお勧めします。

助産師外来からの御案内 ～産婦人科外来で行っています～

助産師って、いったいどんなことをする人なのかご存知ですか？

助産師は古くから助産活動のみならず、地域に根ざし、家族を含めた健康支援の専門家として活動しています。

当院の助産師外来においては、妊娠・出産の援助の他に、母乳育児の推進・子育て支援や性に関する相談、思春期相談、更年期相談、受胎調節相談等、相談者自身が正しい情報を得て、自己管理をしていけるよう支援を行っております。

現在は、女性の長寿に伴い、更年期以降の約30年をいかに質が高く快適に過ごせるかが大きな課題です。更年期は誰でも通る道、病気ではないと自分も周囲も軽く扱いがちになり、ひとりで悩んだり苦しんだりしている状況にはありませんか？そのような方は是非一度助産師外来にお立ち寄り下さい。また思春期にあるお子様方やその御家族の方々に対して、この時期特有の体や心の変化に対する相談や性に関する悩み・相談などを受けております。メンタルケアを大切に女性と『対話すること』を重視し、女性の健

康づくりの支援に努めています。ご相談内容によっては、医師との連携もっております。

産婦人科外来内の相談室は、プライバシーを配慮し、個室となっています。また、産婦人科外来に来る事をためられる方には、別室の看護相談室も御用意しています。

女性の健康支援の為に助産師外来をより多くの方々に御利用していただけるよう、地域への広報活動をしているところです。どうぞお気軽に当院の助産師へお声をおかけ下さい。



助産師外来のご案内

☆母乳育児相談・思春期相談・更年期相談など、女性の健康支援の為に御相談

AM：医師の診療後、随時行います。

PM：予約制です。

ご予約・お問い合わせは

0476-22-2311 成田赤十字病院・助産師外来まで

成田赤十字病院 外来担当医表

診療受付時間 午前8：30～午前11：00（自動再来受付機による再診受付は午前7：00から）但し形成外科は午後12：30から

（平成15年4月1日現在）

診療科目			月	火	水	木	金	土(第1・3・5)
内科	①	初診	柳 沢	松 尾	尾世川	小 方	蓮 沼	藤森 新島 森尾
	②		寺 沢	青 墳	脇 田	新 島	松 浦	倉本 志賀 黄
	③	初回再診	寺 田	黄	櫻 田	松 浦	志 賀	遠藤 江渡
	⑬		倉 本	小方／尾世川	江 渡	森 尾	小 出	交代で1診ずつ
	⑤総合1	再診 (予約)	松 澤	武 田	柳 沢	尾世川	大 橋	伊 能
	⑥総合2		加 藤	波多野	松 本	(膠原病)柳沢	前 田	〈訪問〉 尾世川 柳 沢
	④血液内科		青 墳	脇 田	松 浦	脇 田	脇 田	
	⑧消化器内科		小 方	伊 能	福田(和)	遠 藤	木 下	
	⑨呼吸器内科		新 島	江 渡	新 島	喘息外来	寺 田	
	⑩循環器内科		尾世川	寺 沢	森 尾	志 賀	藤 森	
	⑪腎臓内科		蓮 沼	大 橋		(糖尿病)松尾	倉 本	
	⑫糖尿病内科 (午後)		黄	櫻 田	松 尾	黄	櫻 田	交代制
	緊急外来	午前	青 山	志 田	門 平	加 藤	武 田	交代制
		午後	小 出	松 澤	藤 堂	押 田	青 山	
	人間ドック	午前	松 岡	蓮 沼	蓮 沼	伊 能	松 岡	蓮沼／伊能
	糖尿病教室	午後	松 尾		黄			松尾／黄／櫻田
外科		初診	大多和	菅 谷	石 井	清 水	西 谷	西 澤
		再診	小川・菅谷	石 井	西 澤	小川・西谷	大多和	太 田
			西 村	清 水	太 田	第3～山中	西 村	
心臓血管科		初診・再診		小 林		小 林		
整形外科		初診	喜 多	齊 藤	三 枝	井 上	小 泉	杉岡／中山
		再診	三枝・小泉 杉 岡	喜多・井上 小 林	齊藤・小泉 杉 岡	三 枝 齊 藤	喜 多 井 上	第1小泉 第3喜多 第5井上
小児科		初診・再診	眞山・野口(博) 角南・渡邊	眞山・五十嵐 鈴木・有馬	野口(博)・富山 野口(靖)	野口(博)・角南 野口(靖)・渡邊	眞山・五十嵐 野口(博)	野口(博)・角南 第1五十嵐 第3野口(靖)
	特殊外来 (要予約)	午後	第1・3(予防接種) 野口(博)	(乳児健診) 交代制	(内分泌)眞山 (血液)角南 (循環器)本田	第1・3(発達) 富 山 第4(神経)		
			野口(博)・富山			杉 田		
						中 村 国保(第3)	五十嵐	加 藤
産婦人科	婦人科	初診	上 杉	小 林	坂 本	藤 田	石 井	小 林
	産科	再診	小 林 坂 本	藤 田 石 井	上 杉 藤 田	石 井 上 杉	坂本・外丸 小 林	KSP外来大学医師
眼 科		初診・再診	渡 部 袁輪・宇高	交代制	交代制	渡 部 宇高・窪田	渡 部 袁輪・窪田	交代制
耳鼻咽喉科		初診・再診	根 本 清 水	橘 浅 野	休 診	根 本 清 水	橘 清 水	初診・指定患者・ 投薬のみ
皮膚科		初診・再診	山 本 宮 川	寄 藤 山 本	手術日	山 本 宮 川	寄 藤 伊豫田	初診・指定患者・ 投薬のみ
泌尿器科		初診・再診	大 木 中 町	山 本	中 町 大 木	大 木 吉 田	中 町	第1・3新保 第3大木/中町
神経内科		初診	大 飯	伊 藤	吉 川	田 村	片 山	片 山
	特殊外来 (予約制)	再診	片 山	吉 川	田 村	片 山	伊 藤	
		再診のみ 午後1：30～				(パーキンソン病) 吉 川		
精神科		初診	斎 賀	古 田	佐 藤	赤 田	吉 村	赤 田
		再診	赤田/吉村・古田	佐藤・佐竹	斎賀・吉村	佐藤・斎賀	古田・赤田	古田/佐藤・吉村/斎賀
放射線科		初診・再診	岡 田	大学講師 (尾 形)	岡 田	大学講師 (磯 部)	岡 田	指定患者のみ
麻酔科		初診・再診		藤 井		江 澤		木 島
口腔外科		初診・再診	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東
形成外科		初診・再診	黒 木		黒 木		黒 木	
		午後12：30	川 上		川 上			

※内科①～⑬は診療室の部屋番号です。

基本理念・基本方針

【基本理念】

- ・医療の質の向上、安全な医療の提供に努めます
- ・患者様の権利、医療人としての倫理を守ります
- ・患者様中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます

【基本方針】

- ・地域の皆様から信頼される病院を目指します
- ・救急医療の充実、より高度な医療の提供に努めます
- ・地域の医療機関とのより一層の連携（病診連携、病病連携）に努めます

患者様の権利

私たちは、患者さまの権利を尊重し、最善の医療の提供に努めます。

1. あなたの尊厳を守ります。
2. 適切な医療を受ける権利を尊重します。
3. 診療についての十分な情報、説明を受ける権利を尊重します。
4. 自分自身の治療について自分で決定する権利を尊重します。
5. あなたのプライバシーが守られます。